

# 鳥取 YEG通信

TOTTORI  
YOUNG  
ENTREPRENEURS  
GROUP

発行: 令和3年7月15日  
鳥取商工会議所青年部  
広報IT委員会

**鳥取商工会議所青年部通信**





パブリックビューイング

中国ブロックYEG出向理事  
 網尾和亮

令和3年5月21日(金)、第38回中国ブロック大会倉吉大会が開催されました。昨年度、新型コロナウイルスにより延期となり、年度を跨ぐ異例の事業となりました。中国ブロックの5県中2県が緊急事態宣言発令中の為、完全リモート形式となり、鳥取YEGは、パレットとっとり市民交流ホールにてパブリックビューイングでの開催でした。

コロナ禍を乗り越えての開催となり、中国ブロック商工会議所青年部連合会令和2年度会長湯村大介氏をはじめ倉吉YEGの想いが画面越しから伝わってくる感動的な式典となりました。そして、中国ブロック旗を令和3年度・井原YEGへと力強く引き継がれました。

## 日本YEG 第38回中国ブロック 大会倉吉大会



スポーツ大会の選手宣誓



ビーチクリーン後の集合写真

令和3年5月30日(日)「会員交流スポーツ大会」を開催いたしました。開催場所が賀露みなと海水浴場の砂浜での開催で、梅雨に入っていることもあり天候の心配をしておりましたが、絶好の晴れ模様の中、開催することができました。

当日、スポーツ大会開催前には、砂浜の清掃活動ビーチクリーン活動を行いました。ビーチクリーン活動のみの参加者もおられ、おかげさまで綺麗な砂浜となりました。本当にありがとうございました。

開催は、一般社団法人 すなはスポーツ様に協力して頂いての開催で、沢山の会員の皆さまに参加してもらったことが出来ました。スポーツ競技は、紅白チームに分かれてもらい、ビーチテニス、フレスコボール、ビーチサンダル飛ばしをスタンラリー形式で行い、最後にチーム対抗すなはドッチボール対決で勝敗を決しました。砂浜ということもあり、思いきり飛び込んでボールを追いかけたりと砂浜ならではの醍醐味を感じました。加えて、印象的なのは、皆さんの楽しそうな笑顔が見られたことです。スポーツを通し、会員同士の絆がより深まったと感じました。

コロナウイルス感染症の影響で、このような会員同士の交流がなかなか出来ない中、この度は、感染予防を講じた上での開催でした。コロナウイルス感染症の終息にはまだ時間がかかると思いますが、会員の皆さまの交流出来る形を模索していきたいと思っております。

最後になりますが、この度の「会員交流スポーツ大会」開催に携わっていただいた皆さま、ご協力本当にありがとうございました。

会員交流委員会 委員長 中江優一

## 会員交流スポーツ大会開催

## 令和3年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部  
 会長 荒田潤之介  
 株式会社 千代田工務店

7月になり、樹々の緑も益々色濃くなる中、青年部の活動もコロナに屈することなく、会員の皆様の挑戦していく想いと日々の頑張りによって、益々色濃くなってきました。

そんな中、鳥取県内の新型コロナウイルスの感染者は、他県と比べて落ち着いていますが、マスクはまだまだ手放せない状況であり、マスク着用で熱が籠ることによる熱中症など、気温の上昇に合わせた十分に体調管理していただきたいと思っております。

また、新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、賛否両論はあると思いますが、東京2020オリンピック・パラリンピックも開催する方向で動いていきます。その東京オリパラの成功とワクチン接種が進むことで、コロナの収束ができるだけ早く訪れることを切に願うと共に、コロナ禍でも商工会議所青年部として出来ることを模索し、地域のために積極的に行動していきたいと思っております。先日、SDGsの取り組みの一環として『海ごみゼロウィーク』に合わせて、会員によるビーチクリーン活動を行いました。海に流れるプラスチックゴミを海洋生物が食べることで海洋汚染が深刻

化する中、海岸にある多種多様なゴミを拾いながら、SDGsが世界に広がることで、こういった問題が少しでも解決すればいいなと思えました。そのためには、地道な活動と共にSNSを使って発信していくことも大切だと思いついて、TODOKUやインスタで発信させていたいております。

ビーチクリーン活動の後、綺麗になったビーチで、コロナ禍で中々できなかった会員交流の機会として、スポーツ交流会を行いました。コロナ対策として屋外であるビーチで多くの会員に楽しんでいただけるために、すなはスポーツ様に協力いただき開催いたしました。久しぶりと思えるほどの会員の皆様の笑顔を見て、今後の活動への「チカラ」をいただきました。私たち青年部は、このように会員の交流もしながら、結束力を高め、青年部の5年間のビジョンにあるように地域のためにその会員の個々の「チカラ」を集結し、全国屈指の青年団体を目指していきます。170人を超え、出席率の課題はありますが、素晴らしい頼りになる会員の皆様が所属しており、まだまだ伸びしろがある団体です。地域の商工業の発展のため会として、もう一段階、成長していきたいと思っております。引き続きご指導とご鞭撻を頂戴いたしますことをお願いいたします。

最後に、我々青年部は、会員の皆様が学び成長する機会や仲間を作る機会、地域の商工業の発展のために携われる機会など、あらゆる機会を提供できるように活動しています。興味のある方は、入会してみませんか？

心から、お待ちしております。

## 6月例会開催について

鳥取商工会議所青年部は、令和3年6月9日(水)に商工会議所5階大会議室にて6月例会を開催しました。6月例会は、ビジョン推進特別委員会が担当し、「鳥取YEGビジョン」について改めて理解を深める例会を行いました。鳥取YEGは今年度でビジョン策定から4年目となります。

今回は、現時点で会員の皆様ほどの程度ビジョン等について認識があるのかを検証し、5年間の最終年度へ向けてモチベーションアップを狙う参加型の例会としました。委員会ごとに分かれ、綱領・指針・鳥取YEGビジョンなどの穴埋め問題を実施しましたが、頭の中では分かっているつもりでも言葉や漢字が思い出せないなど、正解率は6割程度となりました。最後にまとめとして、全国屈指の単会になるためにはどうあるべきか、また今の鳥取YEGの「強み」、「課題」は何かを共有し、例会を閉じました。

来年はいよいよ最終年度になります。コロナ禍という非常に活動が厳しい状況下ではありますが、先見の目を持ち、突破していくことが青年経済人の責務と考え、YEG活動に邁進してまいります。

ビジョン推進特別委員会 委員長 松島新太郎



例会の様子



グループディスカッション

## 浪沢栄一が教えるお金の話 絵本「おかねってなあに？」 の寄贈について

この度、日本商工会議所青年部が浪沢栄一が教えるお金の話 絵本「おかねってなあに？」を制作し、鳥取YEGとして、鳥取市の小学校39校と義務教育学校4校と鳥取市に絵本を寄贈することといたしました。

つきましては、5月26日(水)に鳥取市教育長尾室高志様に代表になっていただき、寄贈いたしました。

本事業は浪沢栄一翁が2024年に発行される新しい1万円札の肖像に選ばれたことから企画され、全国の子供たちにお金の大切さを学んでもらうため制作されました。子どもたちだけではなく、いろいろな方に手に取っていただけることを願っております。



寄贈式

## 新入会員



古都直記君  
 (ふるいちなおき)  
 事業所名 HINOKEN  
 所属委員会 ビジネス向上委員会



岩崎直紀君  
 (いわさきなおき)  
 事業所名 山陰東陽化成南  
 所属委員会 まち興し委員会